

中期五ヶ年経営計画のための事業評価シート

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

<計画年度:平成29年度～平成33年度>

事業名	診療業務補完事業	定款条項	第4条第1項第8号事業【その他この法人の目的を達成するために必要な事業】	評価年月	平成29年1月
-----	----------	------	--------------------------------------	------	---------

帯広市補助事業の目的及びその概要	○帯広競馬場におけるばんえい競走馬の診療業務をサポートする事業を展開することにより、競走馬の健康維持と疾病の予防、治療の円滑な診療体制の確保を図り、もってばんえい競馬の安定的な運営に寄与することを目的とする。				
事業運営方針	1	診療所における、競走馬の健康維持と疾病の予防、傷病治療等を担う開業獣医師に対し、円滑な治療を可能とする環境整備や診療業務の負担を軽減するサポート事業を展開するとともに、帯広畜産大学動物医療センターとの連携による安定的な診療体制を確保する。	3	診療機器等の整備、充実を図り、会員の意向も踏まえた幅広い領域で質の高い診療の提供に努める。	
	2	獣医師が診療業務に専念できる環境を確保するため、当協会にて獣医師補助及び事務補助職員を雇用し、当該診療所へ出向させるなどの人的支援を行う。	4	診療所の安定的かつ自律的な経営に向けて、帯広市、当協会が連携し、より一層獣医師と意思疎通を図りながら様々な視点から総合的な支援を講じる。	

◎過去五ヶ年の事業費の推移(正味財産ベース)

(単位:千円)

年度	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (予算)
経常収益	0	0	0	22,277	20,460
内訳	賞金引去受託料	0	0	2,282	2,460
	補助金(帯広市)	0	0	19,995	18,000
経常費用	0	0	0	18,645	21,453
内訳	診療業務補完事業費	0	0	12,918	14,400
	事業管理費	0	0	5,727	7,053
経常外費用	0	0	0	0	0
他会計振替額				1,232	△ 993
正味財産期末残高	0	0	0	4,864	0

◎競走馬診療業務サポート事業

【事業概要及び取組方針】

①「ばんえい競馬の安定的な運営」に寄与するため、競走馬の健康維持と疾病の予防、治療の円滑な診療体制の確立(帯広市補助金:平成27年度19,995千円・平成28年度18,000千円)

②帯広畜産大学との連携構築
ばんえい競走馬の診療に当たり先進技術を駆使し、より正確な診断及び治療を行うとともに医療事故等のリスクを軽減するため、帯広畜産大学「帯広畜産大学動物医療センター」を活用した二次診療の体制を構築する。【現在は連携事態が頓挫している状況】

③補助交付額が年々減少しており、今後、当協会の負担軽減による財政比率の適正化と事業内容の転換を図る必要がある。交付額減少に伴い、管理費等の配賦比率見直しや当協会が支援している自己資金も減額せざるを得ない。

【平成27年度事業概要】	【平成28年度事業概要】	【平成29年度以降事業概要】
①暫定的診療体制整備 ②診療所開設準備 ③獣医診療の補完 ④医療機器無償貸与 ⑤診療業務の負担軽減 ⑥安定的運営のための助言 ⑦診療業務の人的支援	①獣医診療の補完 ②医療機器無償貸与 ③診療所付帯設備の修繕 ④診療所管理運営費の一部負担 ⑤診療業務のサポート及び負担の軽減 ⑥診療業務の人的支援	①獣医診療の補完 ②医療機器無償貸与 ③診療所付帯設備の修繕 ④診療所管理運営費の一部負担 ⑤診療業務のサポート及び負担の軽減 ⑥診療業務の人的支援 ⑦帯広畜産大学二次診療体制構築

◎評価基準

A 現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	◎
B 現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	○
C 現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	○
D 現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	△
E 現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	○
F 現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	△
G この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	△

【総合評価・意見等】

新たな診療所運営の形は、この2年間で整いつつあるが、安定的かつ継続的な運営のためには、規模が縮小しても補助事業及び当協会の支援は不可欠である。よってサポート体制を長く維持するためには、実情に応じた措置が必要である。また、獣医師体制の充実が懸案であるが、向こう五年間でこれらの解決に向け関係機関とも引き続き協議をしていく。

判定
D